



紙とデザインと印刷・情報の総合展 JP2007 情報・印刷産業展

5月24日から26日の3日間、インテックス大阪で

「風は西から～」をキャッチフレーズに「JP2007情報・印刷産業展」(主催/JP産業展協会、井戸幹雄会長)が、新たなコンセプトのもとに5月24日から3日間、インテックス大阪(4・5号館)で開催される。106社・594小間に新鋭機材とシステムが展示される他、時流講演会や技術セミナーも開催される。総合テーマは「第2期デジタル印刷革命の時を迎えて」。生産工程の基幹となる新たなワークフローなど、印刷関連産業展示会のもつ基本構成の他に、業界では初めて製紙業界やデザイン界とのコラボ展を開催、近畿圏内の高校・大学、デザイン学生、デザイナーなどを含める印刷発注クライアントも観客の対象としている。また、会期中には全日本印刷工業組合連合会(以下全印工連)の通常総会が初めて大阪で開催される他、大阪府印刷工業組合(南貴夫理事長・以下大印工)の通常総代会がJP展を支援する形で時と場所を同じくする。

JPからIGASへ、そしてdrupaへ

第31回目を迎えた「JP情報・印刷産業展」。長い歴史の中で、活版からオフセットへ。アナログからデジタルへと、大きな技術革新を地域印刷業界とともに乗り越えて業界の発展に寄与してきた。しかし今日、中央で開かれる機材展が商取引上に成果を収めていることに対して、環境変化や交通の発達、更に情報化社会の進展に伴い、一地域内での商取引機能を主とする機材展のあり方が問われてきたことも事実である。

これから向かえようとしている第2期デジタル化時代の印刷業界が求める新たな技術と経営、営業戦略上に、従来の業界内輪の単なる機材展だけでは出展社の意欲は薄れ、強いては歴史あるJP展の魅力が薄れ、その結果が規模の縮小にも見られてきた。

そうしたことで主催するJP産業展協会では、井戸会長を中心に同展の出展レギュラーともいべき企業の意見をとりまとめた。

この結果では、変化し続けてきた技術と経営環境、構造的にも変革し続けるこれからの印刷産業界にあって、時代に即した形での開催要望が主流を占め、その経緯の中から取りまとめた幾つかの新たな試みが今回のJP展では具現化される。

出展社数は106社、小間数では594小間と、ほぼ前回と同規模での開催となるが、一つに日本製紙連合会、日本洋紙板紙卸商業組合後援によるコラボ企画を導入している他、もう一つは、日本グラフィックデザイナー

協会後援によるデザインセミナーなど、各種学校並びに近畿圏内の高校・大学、デザイン界の学生、プロデザイナーなどを含める印刷発注クライアントも来場を促しているなど、5月の「JP展」から9月の「IGAS2007展」へ。そして明年の「drupa展」へと拡大継承されて、次代の技術・経営情報を総括的に捉える起点とすべく、また、時代に即した形での開催要望を受けて近畿圏を中心とした西日本の印刷産業にとって不可欠な情報発信の場を兼ね備え、3日間にわたって新たなイベントモデルが繰り広げられることになる。

製紙・デザインと共存共栄

今回のJP展は、絶え間なく変化し拡大しつづける技術・経営ソリューション情報を継続的に発信する機能拠点として「5月のJP展」という「点」から年間を通して情報発信する「線」への拡大を目指しており、その情報に基づくセミナーや討論会を通して「面」の活動機能へと発展させていく考えのもと、来場者が関心を抱く一つ一つの基点から、自然に次のテーマへと発展・追求できる手がかりが得られるようにブース展示の流れを「印刷ワークフローを考える新たな技術」に沿った形で構成する。

デジタルワークフローを知らず知らず体感・体験できるような流れづくりに配慮される他、会場5号館特設会場では印刷現場が抱える技術的課題や営業戦略に焦

点を当てたセミナー「Dayセミナー」とする、同一テーマを1日単位で行なう。

また、日本製紙連合会(鈴木正一郎会長)、日本洋紙板紙卸商業組合(竹尾桐理理事長)、(社)日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA・福田繁雄会長)の後援を得て、JP出展会社と製紙・紙販売会社、そしてデザイナーとの三者コラボレーション展を導入し、会場内ではオンデマンド印刷機や大判プリンターなど、その効果的なデザイン表現についてのデザインセミナーなども予定されている。

また、今回は「お楽しみ抽選会」も復活する。

3日間の時局講演会とDayセミナー

「JP2007情報・印刷産業展」初日の5月24日、午後4時から全日本印刷工業組合連合会と大阪府印刷工業組合共催による講演会が、隣接するハイアット・リージェンシー・オオサカにおいて開催される。講師は読売テレビ・報道次長兼解説副委員長の辛坊治郎氏。終了後同所で情報交換会が開かれる。

このほかJP展関連行事として25・26日の2日間、同じくハイアット・リージェンシー・オオサカにおいて産業として印刷に求められる課題を俯瞰する「時局講演会」と、会期中の3日間にわたって印刷現場の変革を追究「Dayセミナー」が5号館特設会場にて開催される。24日の「POD営業戦略Special Day」を除き、その他は無料。